

9. 神秘の水と井戸

山本博著
学生社（1978）
B 6 判 p.218
定価 1,500 円



目次

- 序章 私と井戸（考古学との出会い 船橋の板井の発掘、窯址・廃寺址の発掘と洪水 学位論文にまとめた井戸の研究 水のはたらきとは何か）
- 1.水と井戸（水、生命の起原、立春水・若水、若返りの水）
 - 2.もひとりのつかさ（主水司）（「水」という意味の「もひ」、「水の容器」という意味の「もひ」、中国の「水部郎中」、氷室）
 - 3.井神・水神の誕生（井神・水神の誕生、水神の顔）
 - 4.水の神秘（水素二・酸素一、無機から有機へ、ひそかな祈願、天冑、地府祭、霊水信仰、雨乞いくらべ）
 - 5.神社と水（丹生川上神社、京都の神泉苑と室生の竜穴神社）
 - 6.茶と水（寺島良安と茶の水、加茂川の水、水をねかす）
 - 7.酒と水（古代の酒、清酒と水、甘すぎるほど甘い酒、宮水）
 - 8.井戸の種類（井戸、古代の上町台地、井戸はどこに掘るか、掘抜き井戸 9）
 - 9.井戸と清水（共同井戸、市と水、足洗い井戸）
 - 10.祀られた井戸・清水（井戸を祀る神社、百姓の水、神田用水となる、祀られた涌泉、天の真名井の誓約、山の御井の誓約、金網井と神がかり）
 - 11.古典にみえる井戸・清水（「播磨国風土記」の御井、「万葉集」の井戸・清水、垂水の丘の清流、竹原の井）
 - 12.安寧陵とみほと井（安寧陵はどこか、大和三山の恋争い、畝傍山の七つ井戸）
 - 13.「枕草子」と絵巻物（「枕草子」の井戸、絵巻物の井戸）
- あとがき
注
参考文献

紹介コメント

著者は考古学の立場から井戸の研究を行っている大阪学院大の教授で、長年の井戸の研究内容を分かりやすく解説したのが本書である。この本では、井戸は井筒と水から成り、その水には農耕や飲料など無数の用途がある他に、神秘的な働きがあり神聖視され、古代人がどんな神秘のはたらきを認めてきたかについて解明している。所々に写真も挿入されているので理解しやすい。